



知床世界自然遺産を維持管理する取組

世界自然遺産地域(陸域)の約94%を占める国有林を保護林(森林生態系保護地域)として管理しています

外来種進入状況を含む淡水魚類の生息状況調査、植生のモニタリング、治山ダム改良などに取組み、定期的にユネスコ(UNESCO)に報告しています

知床世界自然遺産の概要と地区区分

遺産地域面積 約71,100ha
(うち海面積約22,400ha)
国有林面積 45,994ha

- 遺産地域(A地区) 将来にわたり厳正な保護管理を図る地域
- 遺産地域(B地区) 自然環境の保全と遺産地域の価値を損なわない持続可能な観光や漁業活動等の利用との両立を図る地域

サケ科魚類の遡上・産卵環境を改善しています



④イワバツ川
H21改良済



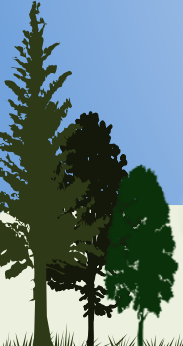
知床世界自然遺産地域科学委員会河川工物アドバイザー会議を事務局として運営しています 魚類の遡上を阻むダムを改良し、産卵環境を整える「川づくり」と遡上数調査に取り組んでいます

北海道森林管理局
知床森林生態系保全センター

野生生物を記録しています

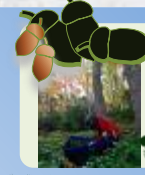
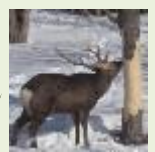
自動撮影カメラを使用して、中大型哺乳類や外来動物等を調べています

- 斜里町真鯉地区
- 羅臼川春菊古丹地区



森林植生の被害を調べています

樹皮や植生を食べるエゾシカの影響や保護柵内の植生回復状況など平成15年から毎年調査しています



どんぐりを調べています
ヒグマなど動物の重要なエサとなるミズナラの堅果(どんぐり)の実り具合を調べています



シマフクロウを見守っています

希少な野生生物の保護に資するためシマフクロウの生育状況などを巡視しています



オショロコマを調べています

低水温を好むオショロコマの生息状況などを調査し、人為的影響を把握しています



●●の河川うち①~④2の42河川で実施

- 改良済 改良済の河川工物物
- 改良中 改良(検討)中の河川工物物



エゾシカを捕獲しています

採食圧による急激な植生の変化や希少種植物群落の衰退が懸念されるため、遺産の隣接地域において、<<りワナを設置しています



地方自治体の取組と連携しています

UNESCO世界遺産委員会(World Heritage Committee)から特に注目されている「ルシヤ地区(道有地約1,200ha)」において、北海道庁が取組んでいる3基のダム改良の検討と連携し、その下流で漁業者の通行とサケ科魚類の遡上を両立させる、「河床路」の実証実験に取り組んでいます